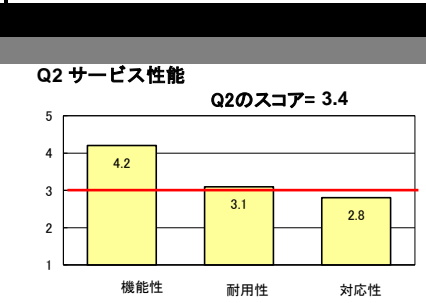
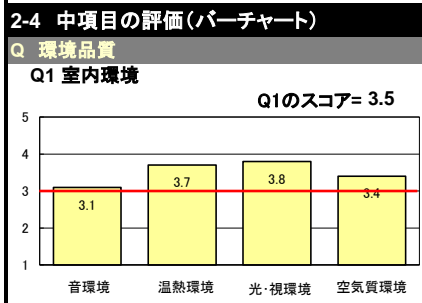
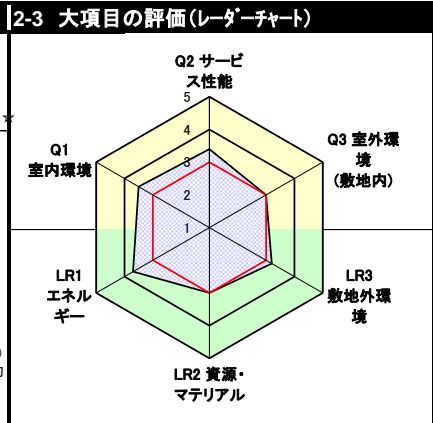
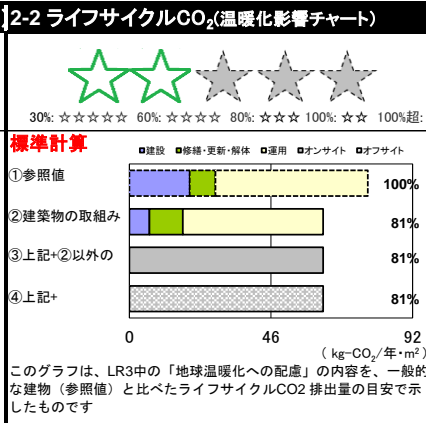
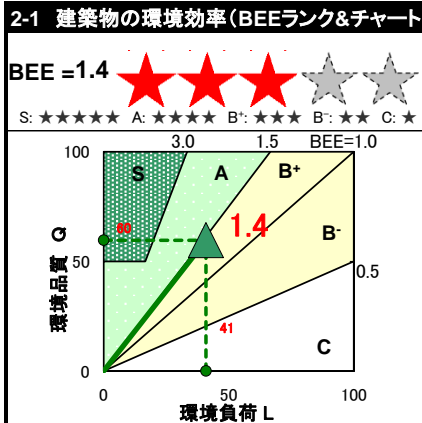


1-1 建物概要	
建物名称	(仮称)海老名市泉一丁目計画 新築工事
建設地	神奈川県海老名市泉一丁目1051-1、2107-1
用途地域	工業地域
地域区分	6地域
建物用途	集合住宅
竣工年	2022年3月 予定
敷地面積	4,613 m ²
建築面積	1,208 m ²
延床面積	10,048 m ²

階数	地上11F
構造	RC造
平均居住人員	516 人
年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
評価の段階	
評価の実施日	2020年6月26日
作成者	株式会社長谷工コーポレーショ
確認日	2020年6月26日
確認者	株式会社長谷工コーポレーショ



3 設計上の配慮事項

総合	その他
地域の景観に配慮した色彩・高さとし、道路等の公共空間との間に植栽を施すことで周辺からの見え方に配慮した計画とした。	0
Q1 室内環境 ・二重壁によりDr値50を目標値として設定。 ・F☆☆☆☆を、床・壁・天井・天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	Q2 サービス性能 ・住宅性能表示基準 劣化対策等級3を取得。 ・各住戸に1Gbitクラスのブロードバンドが利用可能。 ・住居部分の天井高2.5m以上。
LR1 エネルギー ・住宅性能表示基準 断熱等性能等級4を取得。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、複層ガラスを採用。	LR2 資源・マテリアル 二重壁・二重天井を採用し、資源の再利用に配慮している。
	Q3 室外環境(敷地内) 建物の配置・形態・植栽などを周辺との調和に配慮した計画としている。
	LR3 敷地外環境 デイスパーザーを採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される